



平成18年3月1日、武雄市・山内町・北方町が合併し、今年で10周年を迎えました。
 新「武雄市」として、数々の挑戦が生まれたこの10年。10歳の誕生日を節目に、さらに輝く未来へ。
 “市民が主役”の新たな歴史が始まります。



武雄市長 小松 政

かがやく未来、もっと輝く武雄市へ

平成18年3月1日に武雄市・山内町・北方町の3つの市町が合併し、「新武雄市」が誕生して10周年を迎えました。10年の間、市民一丸で取り組んだテレビドラマ誘致、市民病院経営改革、武雄市図書館リニューアル、武雄温泉新館・楼門100周年記念事業、官民一体型学校開校など、新市となっても「住んでいて良かった、住みたいまち」となるよう、市民の暮らしに直結した事業を、より良い未来を思い描きながら邁進してまいりました。その結果、「2016年 住みたい田舎ベストランキング」で全国3位になるなど、市外からも多くの方に注目いただいていることは、市民ならびに市に関わる皆様のご協力の賜物であり、ここに御礼申し上げます。

今日の節目はこれまでの軌跡を振り返るとともに、武雄市の未来に向けた出発点でもあります。今後は、新庁舎建設、九州新幹線西九州ルートの開業、ワンランク上の子育て・教育環境の整備など「もっと輝く武雄市」を未来の皆さんに届けていけるよう全力で取り組んでまいります。

市民の皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらなる市民福祉の向上を目指して

この度、武雄市・山内町・北方町が合併し、10周年を迎えました事に対して、心よりのお慶びを申し上げます。

思い返せば、この一市二町の合併に至るまでも様々な動きがありました。規模や地理的なことを考えても理想の形で合併になったのではないかと思います。ここに至るまでは、各々の首長、議員はもとより多くの関係者の方々のご尽力、ご協力あってのものと感じるところであります。

合併後は、新武雄市として、様々な政策や取り組みがなされ、その結果が、人口約五万人の市が、全国的にも活力ある市として、大変注目を浴び、

行政視察などで訪れる方も増加の一途をたどっています。

議会としましても、議員一丸となり、様々な議案や課題について審議をし、市政発展のために鋭意努力をしているところでありますが、このような中において、武雄市の更なる発展を期していくためにも、10周年を契機として、なお一層市民ニーズを的確に把握し、住民福祉の向上と新しい時代の要請に応えるべく、ますます努力をして参りますので、今後も市議会への関心をもって見ていただき、ご協力をお願い申し上げます。



武雄市議会議長 杉原 豊喜

history

写真で振り返る、この10年



レモングラス試験栽培をスタート。新たな特産品へ。 **2007**



田畑を荒らす害獣を特産品化。いのしし課設置。 **2009**



武雄北方インター工業団地完成。地域経済を活性化。 **2011**



武雄市図書館・歴史資料館リニューアルオープン。 **2013**



官民一体型学校「武雄花まる学園」開校。 **2015**

2006 テレビドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」メインロケ地に。



2008 九州新幹線西九州ルート武雄温泉・諫早間 建設開始。



2010 「武雄市民病院」閉院・民間移譲。新武雄病院へ。



2012 フェイスブック・シティ課誕生。SNSを活用した情報発信。



2014 スマイル学習課設置。反転授業やICT活用で教育改革。



次のステージへ